

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	八千代市			代表者名	服部友則
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画部情報政策課	連絡先電話番号	047-421-6705
担当者役職	主事	担当者氏名	池田健人	連絡先E-mail	
住所	2760046 千葉県八千代市大和田新田				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	デジタル人材育成		
概要	職員向けに生成AI活用を含めたDX推進に関する研修会を実施したい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） AI活用 生成AI活用				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月12日	講演(実地)	13時30分	15時30分	10
			活動時間（分）	110	
2-2. 派遣場所	会場名	八千代市役所		最寄駅	八千代中央駅
	所在地	千葉県八千代市大和田新田312-5		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 勝
評価	良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本市の教育現場や他自治体、民間企業などで行われているDXの事例についてご紹介いただきました。また、DXを推進する際には目的を明確にすることが不可欠であることについてもご説明いただきました。さらに、「変化に抵抗がある人がいることでDX推進の障害となる」とのご指摘があり、組織のトップが変わることの重要性についてもお話しいただきました。講義の最後には、実際に本市で導入している生成AIの使い方を教えていただき、まずは実践してみることの大切さを実感してもらうよう指導していただきました。
アドバイザーへの要望事項	事前に打合せした内容に沿って、説明をしていただきました。次回以降も機会があればお願いできればと考えております。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	8人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	8	0	0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	生成AIの活用により、事務の改善や効率化を通じて市民対応時間の確保、チャットボットによる市民のニーズに迅速に答える情報提供、さらには市民サービスに寄与する政策立案の検討・提案など、様々な視点から市民サービスの向上が期待されている。しかし、本市で導入している生成AIの利用実績を分析した結果、職員の利用率に差が見られ、特にデジタルに馴染みのない管理職においてその傾向が顕著である。管理職が生成AIやDX推進の理解を深めないままでは、むしろDXの取り組みが停滞してしまう危険性がある。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	実施予定の講演により、管理職のDX推進に対する柔軟な考え方を醸成するとともに、住民の満足度を上げるための取組を自発的に推進できる体制の構築を図る。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	管理職職員に対し、下記内容の講演をしていただきました。 <ul style="list-style-type: none"> DX/AXの定義について 本市の教育現場で進んでいるDXについて(教育DX) 本市の現状と自治体DXについて DX推進の心構え デジタルデバインド 生成AI(ハンズオン含む) 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	管理職職員に対して、本公演を通じてDX推進の重要な点である目的の明確化を共有することで、組織全体としてのDXを推進する体制の構築に係る意識改革を講じることが出来ました。また、実際に本市で導入している生成AIサービスを利用することで、変化に対する前向きな姿勢を身につけるとともに、変化に対してトップが柔軟性を持つことの重要性を理解してもらうことが出来ました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	講演実施後のアンケートから、「DX推進のためには、目的を明確にし、共有することが重要ということが理解できた。」「DXの本来のあり方などについて再確認するとともに、自身もAIの活用を試みようと思った。」等コメントがあり、DX推進に対する柔軟な考え方を醸成することができたと考えております。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	本公演の対象者に対し、参加者が5割となりました。住民の満足度を上げるための取組を自発的に推進できる体制の構築を図るためには、職員全体の意識を改革する必要があるため、今回受講しなかった職員のアプローチをしていくとともに、今後も職員に対するDXに対する考え方の醸成を図るよう検討をまいります。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート調査の結果、分かりやすい講演であったことや、DXのありかたについて再確認できた等の感想が寄せられ、DX推進や生成AIに関する様々な意見も出たので、職員の意識醸成に繋げることができたと考えております。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	次年度以降も更なるDX推進に向け、職員の意識醸成を図るための取組を進めていきたい。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	実施予定の講演により、管理職のDX推進に対する柔軟な考え方を醸成するとともに、住民の満足度を上げるための取組を自発的に推進できる体制の構築を図る。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」**を数枚程度貼り付けて下さい。

